

## あいさつ

組合員・利用者の皆様には、平素より格別の理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、令和5年度の決算内容がまとまりましたので、当JAの経営内容等を開示した、令和5年度版ディスクロージャー誌が発行の運びとなりました。

主要事業や経営内容、地域社会との関わりなど諸情報をわかりやすく紹介しておりますので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

我が国の経済は、令和2年の新型コロナの世界的な流行により、甚大な影響を受けました。

その後、新型コロナのワクチン接種の進展などにより、昨年は新型コロナの位置付けが5類に移行され、経済社会活動が正常化し、個人消費や設備投資、またインバウンド需要の増加などから、穏やかに回復してきました。

また、農業を取り巻く環境は、農業者の減少と高齢化が顕著となっている一方で、法人経営体が増加する等、農業経営の法人化・大規模化が進んでいます。

そういう状況のなか、ロシアによるウクライナ侵攻や、急激な円安に伴い、食料・エネルギー・肥料原料等の価格高騰が続いており、生産者のコスト負担等農業経営に深刻な影響を及ぼしています。

更には、昨年観測史上最高といわれる夏場の気温上昇により、米・りんご・野菜等で大幅な収量の減少、品質低下等の被害に見舞われました。

また、JAを取り巻く環境は、信用・共済事業の収益減少を主因に、事業総利益の減少が続いており、更には正組合員の減少にも歯止めが効かず、職員についても年々減少し、十分な人材配置もできず、組合員・利用者の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしております。

各事業の概況について、信用事業では超低金利環境の継続等の要因により貸出金利息の減少、預金施設奨励金の引下げ等非常に厳しい状況にあります。

貯金については、懸賞金付き定期貯金、および特産品付き定期貯金等各種キャンペーンを実施のうえ新規獲得を図りましたが、各団体における支払増加等により、貯金残高では前年度末より14億円減少し、642億円（計画対比96.6%）となりました。

また貸出金では、住宅ローン・農業融資等を重点的に推進した結果、農業融資については堅調に推移したものの、住宅ローンの伸び悩みにより計画対比96.0%となりました。

共済事業では、組合員・利用者への保障提供の徹底と、新たなファンづくりによる強固な事業基盤の確保、永続的な保障提供に向けた効率化の追求と健全性の強化に取り組みましたが、推進総合目標は計画対比82.8%の実績に留まりました。

販売事業の米穀では、6月以降高温で推移し生育が進み開花・刈取りと平年より10日程度早い収穫となり、作柄は作況指数「102」の「やや良」となったものの品質と収穫量にはバラツキが見られました。そういう傾向の中で、昨年より概算金は1,500円上げで集荷に入りましたが、集荷率は90%に留まりました。品薄感から価格が上げ基調で進み米穀全体では販売数量23.9万俵（計画対比96.9%）、金額では23.8億円（計画対比107.4%）の実績となりました。

野菜では、定植後の生育は概ね順調に進み、7月以降は高温で推移したものの、8月には高温傾向が更に顕著となり果菜類では着色・着果不良等の高温障害が発生し収量減となりました。秀品率が劣り品薄感から単価高で推移しましたが、数量減が大きく影響し販売高をカバーすることができず、販売数量954トン（計画対比73.5%）金額では4.1億円（計画対比91.6%）の実績となりました。

りんごでは、春先の凍霜害や、夏場の猛暑による日ヤケや収穫前落下、鳥害等も多発し、作柄・収穫量にも影響し集荷量は26万箱（計画対比57.9%）と大幅に下回り、上位等級の割合低下を招きました。一方で味が良好であったこと、流通量が少なかったことにより販売額は21.4億円（計画対比95.2%）の実績となりました。

購買事業では、価格高騰対策等により肥料供給高が計画を上回ったものの、生活資材等において価格高騰による購入控え等の影響で計画を下回り、供給金額28.5億円（計画対比99.2%）の実績となりました。

このような状況の中、事業総利益では13億2,145万円（計画対比98.8%）の実績となり、当期末処分  
剰余金として8,377万円を計上することができました。

組合員各位のご理解とご協力、並びに関係機関各位のご指導に感謝申し上げ、概況報告とさせて  
いただきます。

青 森 農 業 協 同 組 合

代表理事組合長 鹿内 克之

## 1. 経営理念

私たち JA 青森は、農と食を通して信頼でつながる地域づくりにより未来へ向けて成長し、組合員と地域住民から必要とされる JA づくりをめざします。

## 2. 経営方針

### ◇農業振興と地域社会への貢献

農業をめぐる環境は農業従事者の高齢化等極めて厳しい状況になっています。JAには、地域農業の特性を活かした基本目標を設定し、これらの実践を通じて農家所得の向上、地域の活性化等が求められます。当JAは、「夢と活力ある農業・地域社会」の実現のため、地域特性を活かした農業振興と心のゆたかさを実感できる生活環境の提供に努めます。

### ◇組合員と消費者の満足度向上

JAは日常生活のあらゆる場面に密着した事業を営んでいます。各種商品やサービスが多様化・高度化するなかで、利用者のニーズは安全、安心でかつ健康志向になってきており、またゆとりを重視する傾向が見られます。当JAは、JAが提供するサービスの質を高め、組合員と消費者のニーズに応えた、真心のこもった商品・サービスの提供に努めます。

### ◇信頼と期待に応える経営

信用・共済事業依存型の収支構造からの脱却と、より効率的・効果的な事業運営を徹底し、合併メリットを具体的に感じることが出来る事業運営の確立が必要です。当JAは、「強靱な経営体質」と「透明感のある組織運営」を構築するため、財務体質の健全性向上に努め、リスク管理態勢の確立とコンプライアンスを重視した職場づくりに取り組みます。

### ◇営農・経済事業部門

地域の環境と実態に即した農業振興に努め、多様な担い手づくりと多彩な産地づくり、消費者の視点に立った安全・安心な農畜産物の生産と提供に取り組みます。当JAでは、市町村と連携し、認定農業者の育成や集落営農の推進、農業生産法人や特定農業団体の設立の推進を図ります。さらに、販売力の強化と営農経済渉外員の活動の充実、流通コストの低減等に取り組み、農家所得の向上を図ります。

### ◇信用事業部門

組合員・利用者の満足度向上を目的とした事業展開を図り、「農業と地域に貢献できる地域金融機関」として、より「便利」でより「安心」なJAバンクをめざします。この目標の達成に向け、信頼されるJAを徹底的に追求した活動を展開し、収益力の向上と顧客基盤の拡充を図るとともに、事業推進体制の強化に取り組みます。

### ◇共済事業部門

JA共済は、地域に根ざした農業協同組合の共済事業として、組合員等利用者一人ひとりのライフサイクルやライフスタイルに応じた「ひと、いえ、くるま」の生活総合保障を提供し、地域における満足度・利用度NO.1をめざします。

### 3. 経営管理体制

#### ◇経営執行体制

当JAは農業者により組織された協同組合であり、正組合員の代表者で構成される「総代会」の決定事項を踏まえ、総代会において選任された理事により構成される「理事会」が業務執行を行っています。また、総代会で選任された監事が理事会の決定や理事の業務執行全般の監査を行っています。

信用事業については専任担当の理事を置くとともに、農業協同組合法第30条に規定する常勤監事及び員外監事を設置し、ガバナンスの強化を図っています。

## 4. 事業の概況（令和5年度）

我が国の経済は、令和2年の新型コロナの世界的な流行により、甚大な影響を受けました。

その後、新型コロナのワクチン接種の進展などにより、昨年は新型コロナの位置付けが5類に移行され、経済社会活動が正常化し、個人消費や設備投資、またインバウンド需要の増加などから、穏やかに回復してきました。

また、農業を取り巻く環境は、農業者の減少と高齢化が顕著となっている一方で、法人経営体が増加する等、農業経営の法人化・大規模化が進んでいます。

そういう状況のなか、ロシアによるウクライナ侵攻や、急激な円安に伴い、食料・エネルギー・肥料原料等の価格高騰が続いており、生産者のコスト負担等農業経営に深刻な影響を及ぼしています。

更には、昨年観測史上最高といわれる夏場の気温上昇により、米・りんご・野菜等で大幅な収量の減少、品質低下等の被害に見舞われました。

また、JAを取り巻く環境は、信用・共済事業の収益減少を主因に、事業総利益の減少が続いており、更には正組合員の減少にも歯止めが効かず、職員についても年々減少し、十分な人材配置もできず、組合員・利用者の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしております。

各事業の概況について、信用事業では超低金利環境の継続等の要因により貸出金利息の減少、預金施設奨励金の引下げ等非常に厳しい状況にあります。

貯金については、懸賞金付き定期貯金、および特産品付き定期貯金等各種キャンペーンを実施のうえ新規獲得を図りましたが、各団体における支払増加等により、貯金残高では前年度末より14億円減少し、642億円（計画対比96.6%）となりました。

また貸出金では、住宅ローン・農業融資等を重点的に推進した結果、農業融資については堅調に推移したものの、住宅ローンの伸び悩みにより計画対比96.0%となりました。

共済事業では、組合員・利用者への保障提供の徹底と、新たなファンづくりによる強固な事業基盤の確保、永続的な保障提供に向けた効率化の追求と健全性の強化に取り組みましたが、推進総合目標は計画対比82.8%の実績に留まりました。

販売事業の米穀では、6月以降高温で推移し生育が進み開花・刈取りと平年より10日程度早い収穫となり、作柄は作況指数「102」の「やや良」となったものの品質と収穫量にはバラツキが見られました。そういう傾向の中で、昨年より概算金は1,500円上げで集荷に入りましたが、集荷率は90%に留まりました。品薄感から価格が上げ基調で進み米穀全体では販売数量23.9万俵（計画対比96.9%）、金額では23.8億円（計画対比107.4%）の実績となりました。

野菜では、定植後の生育は概ね順調に進み、7月以降は高温で推移したものの、8月には高温傾向が更に顕著となり果菜類では着色・着果不良等の高温障害が発生し収量減となりました。秀品率が劣り品薄感から単価高で推移しましたが、数量減が大きく影響し販売高をカバーすることができず、販売数量954トン（計画対比73.5%）金額では4.1億円（計画対比91.6%）の実績となりました。

りんごでは、春先の凍霜害や、夏場の猛暑による日ヤケや収穫前落下、鳥害等多発し、作柄・収穫量にも影響し集荷量は26万箱（計画対比57.9%）と大幅に下回り、上位等級の割合低下を招きました。一方で味が良好であったこと、流通量が少なかったことにより販売額は21.4億円（計画対比95.2%）の実績となりました。

購買事業では、価格高騰対策等により肥料供給高が計画を上回ったものの、生活資材等において価格高騰による購入控え等の影響で計画を下回り、供給金額28.5億円（計画対比99.2%）の実績となりました。

このような状況の中、事業総利益では13億2,145万円（計画対比98.8%）の実績となり、当期末処分

剰余金として8,377万円を計上することができました。

組合員各位のご理解とご協力、並びに関係機関各位のご指導に感謝申し上げ、概況報告とさせていただきます。

〔主要な事業活動と成果〕

① 信用事業

(貯金)

特産品、懸賞金付き定期貯金キャンペーンを実施し、貯金吸収を図りましたが、純新規契約の伸長率低迷等により、計画対比 96.6%、642 億 4,600 万円の実績となりました。

(借入金)

転貸資金の需要対応資金として、計画対比 66.9%、2 億 400 万円の実績となりました。

(貸出金)

農業融資及び住宅ローン・小口ローン等の貸出伸長に努めましたが、計画対比 96.0%、136 億円の実績となりました。

(預金)

効率的な資金運用に努めましたが、計画対比 94.9%、439 億 2,700 万円の実績となりました。

② 共済事業

(長期共済)

役職員一丸となり長期共済目標に取り組みましたが、目標 3,339,484 ポイントに対し実績が 1,927,735 ポイントの 57.7%の実績となりました。

(短期共済)

窓口・L Aによる短期共済の保障点検を実施し、目標 3,200,000 ポイントに対し実績 3,382,877 ポイントの 105.7%の実績となりました。

③ 購買事業

(生産資材)

生産資材の供給高は、価格高騰対策等により計画対比で肥料が 110.7%となり、生産資材全体では計画に対し 102.1%の 21 億 7,900 万円の実績となりました。

(生活資材)

生活資材の供給高は、原材料等の価格高騰による購入控え等の影響により、生活資材全体では計画に対し 90.7%の 6 億 7,200 万円の実績となりました。

④ 販売事業

(米)

田植時は低温気味で 6 月に入り天候が回復、7～9 月にかけて高温で推移し生育が進み開花、刈取と平年より 10 日程度早まりました。作況指数は 102 と高かったものの品質と収穫量にはバラツキが見られ品薄感から価格は上げ基調で進みました。その中に於いて計画対比で集荷率 90%、販売数量 96.9%、金額 107.4%の実績となりました。

(りんご)

春先の凍霜害や夏場の猛暑による日ヤケや収穫前落果、鳥害等多発し集荷量は 26 万箱（計画対比 57.9%）と大幅に下回りましたが、味が良好であったこと、流通量が少なかったことにより、販売額は 21 億 4,000 万円（計画対比 95.2%）の実績となりました。

(やさい)

消雪が早かったものの育苗期は低温気味で推移、6月に入り天候が回復、7～9月にかけては高温で推移しました。7月は断続的な雨もあり果菜類では軟果玉の発生が多く秀品率が劣り品薄感から単価は上昇しました。その中に於いて計画対比で数量73.5%、金額91.6%の実績となりました。

(花き)

野菜同様、前半低温傾向で進み、中盤からは猛暑と水不足で草丈が短く開花が大幅に早まりました。その中に於いて品質も悪く、計画対比で数量92.0%、金額85.9%の実績となりました。

(畜産)

コロナ感染症が5月から第5類に変わり価格も上向き傾向かと予想しましたが、販売頭数の割に価格が振るいませんでした。その中に於いて計画対比で数量110.8%、金額94.1%の実績となりました。

⑤ 保管事業

期間を通じて高温で推移したため作柄にバラツキが見られ、品薄感で米相場は上昇し入庫量は90%程度に留まりました。飼料用米は83.6%留まりでしたが、集約保管から自倉庫保管に努めました。その中に於いて保管収益は計画対比で140.0%の実績となりました。

⑥ 加工事業

(ライスセンター・麦施設)

作柄にバラツキが見られ低品質と入庫量確保に留意しライスセンター主軸に早めの受入態勢で臨みました。その中に於いて加工収益は計画対比で124.3%の実績となりました。

⑦ 利用事業

(カントリー)

ライスセンター同様、早めの受入態勢で臨みましたが、カントリーに於いては修繕費等の経費が嵩み、その中に於いてカントリー収益は計画対比で28.0%の実績となりました。

(堆肥施設)

籾殻堆肥の供給が落ち込み、経費を抑え原料処理対策に取り組みました。その中に於いて堆肥収益は200万円程赤字となりました。

(りんご施設)

収穫量が大幅に下回ったことから利用料が減少し、さらに電気料金の高騰により計画を大幅に下回りました。

(野菜施設)

夏秋野菜が高温の影響を受け入庫量を確保出来ず、特に大玉トマトの品質低下と収穫量が大きく低下し、講習会初め高温対策を試みましたが7割程度の入庫量でした。その中に於いて野菜施設収益は計画対比で40.8%の実績となりました。

⑧ 指導事業

(水稻)

肥料価格高騰対策事業の取り組みによる土壌診断や低成分肥料の切替えなどのコストの低減の推進、密苗栽培等の省力化技術の普及に努め、気象状況に応じ高温における刈取り適期や病虫害防除など現地講習会にて実施いたしました。

(りんご)

春の生態が大幅に進んだことから、適期作業、適期防除のための講習会開催や生産情報を随時発行しました。

(野菜・花き)

高温における対策として灌水や遮光資材の利用など、部会を中心に講習会や目揃会を開催しました。また、夏秋野菜における反収の確保に向け、栽培技術の平準化と情報の共有化を図り高品質・安定・多収穫栽培に取り組みました。

(畜産)

高温下での牛舎施設の改善について優良生産者視察を実施し、部会や振興協議会を主体に増頭事業に取り組みました。また、経営改善や飼養技術の向上を図り安心で良質な肉牛・子牛生産に努めました。

#### ⑨ その他事業

青森市の指定管理事業に於いては計画に基づき委託事業業務を遂行しました。

#### ⑩ 広報活動

広報誌では、農家さんの紹介記事やJAの活動内容を掲載し、組合員、地域住民への情報発信をしました。Facebookを活用し、イベント情報の周知をしています。また、各イベントに協賛、参加し、積極的に地域貢献活動を行っています。

## 5. 事業活動・農業振興活動のトピックス（令和5年度）

|        |    |                      |
|--------|----|----------------------|
| 令和5年4月 | 3日 | みのり監査法人期末Ⅰ現金実査       |
| 4月     | 3日 | 令和4年度決算棚卸・現金等監事監査    |
| 4月     | 7日 | JA青森あすなろ直売センター臨時総会   |
| 4月21日  |    | バサラコーン種まき講習会         |
| 4月25日  |    | 浪岡地区水稻現地講習会          |
| 4月27日  |    | 第1回水稻現地研修会（青森市）      |
| 4月27日  |    | 定例監事会                |
| 4月27日  |    | 定例理事会                |
| 5月     | 1日 | みのり監査法人期末Ⅱ監査（～9日）    |
| 5月     | 9日 | 浪岡地区りんご共防連「腐らん病一斉点検」 |
| 5月10日  |    | 決算監事監査（～17日）         |
| 5月19日  |    | りんご現地講習会             |
| 5月22日  |    | 農事振興会長会議（本店管内）       |
| 5月23日  |    | 青森市ぶとう栽培技術講習会        |
| 5月29日  |    | 蟹田小学校田植え             |

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 5月30日 | 定例監事会                           |
| 5月30日 | 定例理事会                           |
| 6月 1日 | JA 常勤理事と女性部役員の意見交換会             |
| 6月 5日 | 米倉庫監事監査（～6日）                    |
| 6月 7日 | 組合員地域座談会（蟹田支店・蓬田支店管内、本店・大野支店管内） |
| 6月 9日 | 組合員地域座談会（平内支店管内、中央南支店管内）        |
| 6月12日 | 組合員地域座談会（浪岡支店管内）                |
| 6月13日 | にんにく栽培講習会                       |
| 6月19日 | バサラコーン現地講習会                     |
| 6月20日 | りんご販売報告会                        |
| 6月22日 | 定例監事会                           |
| 6月22日 | 定例理事会                           |
| 6月24日 | 第15回通常総代会                       |
| 6月24日 | 臨時監事会                           |
| 6月24日 | 臨時理事会                           |
| 7月 4日 | ミニトマト部会現地講習会・目揃会                |
| 7月 7日 | 青森農協とまと部会東つがる支部令和5年度出荷目揃会       |
| 7月11日 | 浪岡地区水稻追肥講習会                     |
| 7月11日 | 総務委員会                           |
| 7月11日 | 経済委員会                           |
| 7月12日 | 水稻現地講習会（青森市）                    |
| 7月13日 | 水稻現地講習会（蓬田村、外ヶ浜町）               |
| 7月13日 | 「ちゃぐりん」進呈式                      |
| 7月13日 | 水稻現地講習会（今別町）                    |
| 7月14日 | ピーマン・きゅうり目揃会                    |
| 7月14日 | りんご部会連絡協議会委員会                   |
| 7月18日 | 稲作部会現地検討会、及び講演会                 |
| 7月21日 | バサラコーン出荷説明会及び現地巡回講習会            |
| 7月31日 | 定例監事会                           |
| 7月31日 | 定例理事会                           |
| 8月10日 | 東部りんごセンター選果機竣工式、出荷者大会           |
| 8月17日 | 本郷りんご部会定時総会                     |
| 8月18日 | ネギ部会目揃会                         |
| 8月18日 | 浪岡支店農協祭り                        |
| 8月24日 | 浪岡りんご部会定時総会                     |
| 8月24日 | 大杉りんご部会定時総会                     |
| 8月24日 | 女鹿沢りんご部会定時総会                    |
| 8月29日 | 浪岡地区水稻刈取講習会                     |
| 8月29日 | 定例監事会                           |
| 8月29日 | 定例理事会                           |
| 8月31日 | 第3回水稻現地講習会                      |
| 9月 4日 | みのり監査法人期中Ⅰ監査（～8日）               |

|      |        |                             |
|------|--------|-----------------------------|
|      | 9月 5日  | 水稻現地講習会（今別町）                |
|      | 9月 7日  | 経済委員会                       |
|      | 9月 7日  | 臨時理事会                       |
|      | 9月 8日  | 令和5年度JA役員コンプライアンス研修会        |
|      | 9月13日  | 令和5年度稲わら有効利用推進パトロール出発式      |
|      | 9月20日  | 今別営農センター出張ドコモショップ（～21日）     |
|      | 9月26日  | スマート農業実演会                   |
|      | 9月27日  | 定例監事会                       |
|      | 9月27日  | 定例理事会                       |
|      | 10月 2日 | 上半期現金等監事監査                  |
|      | 10月12日 | 令和5年度上半期監事監査（～17日）          |
|      | 10月22日 | 令和5年度青森圏域スマート農業フェア          |
|      | 10月27日 | 青森市浪岡地区りんご盗難防止パトロール出動式      |
|      | 10月28日 | JA秋祭り                       |
|      | 10月30日 | 定例監事会                       |
|      | 10月30日 | 定例理事会                       |
|      | 11月17日 | トマト部会東つがる支部反省会              |
|      | 11月24日 | 青森農協畜産部会視察研修                |
|      | 11月29日 | 経済委員会                       |
|      | 11月29日 | 定例監事会                       |
|      | 11月29日 | きゅうり・ピーマン部会反省会              |
|      | 11月29日 | 定例理事会                       |
|      | 11月29日 | 代表理事と監事との意見交換会              |
|      | 11月30日 | 購買品棚卸監事監査                   |
|      | 12月 5日 | 今別営農センター出張ドコモショップ（～6日）      |
|      | 12月12日 | 総務委員会                       |
|      | 12月22日 | 北中野出荷組合販売報告会                |
|      | 12月26日 | 定例理事会                       |
|      | 12月26日 | 役員コンプライアンス研修会               |
|      | 12月29日 | 仕事納め・令和5年度職員認証試験合格者証書交付式    |
| 令和6年 | 1月 4日  | 仕事始め                        |
|      | 1月11日  | 人・農地プラン大杉地域座談会              |
|      | 1月11日  | 職員コンプライアンス研修会（～16日）         |
|      | 1月15日  | 令和6年度バサラコーン栽培説明会及び令和5年度通常総会 |
|      | 1月18日  | 青森市浪岡地区りんご剪定大会              |
|      | 1月23日  | 稲作部会通常総会・冬期セミナー             |
|      | 1月25日  | トマト部会東つがる支部総会               |
|      | 1月25日  | 青森農協乾燥調製施設運営委員会令和5年度定時総会    |
|      | 1月30日  | 定例監事会                       |
|      | 1月30日  | 令和5年青森警察署警察協力功労者感謝状贈呈式      |
|      | 1月30日  | 定例理事会                       |
|      | 1月30日  | マネロン・テロ資金供与対策にかかる役員研修会      |

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 1月31日 | 浪岡地区りんご共防連令和5年度定時総会        |
| 2月 1日 | みのり監査法人期中Ⅱ監査（～5日）          |
| 2月 2日 | りんご販売トップセールス（～6日）          |
| 2月 6日 | 青森農協ネギ部会通常総会               |
| 2月 9日 | 第48回平内支店営農講座               |
| 2月 9日 | 北中野出荷組合剪定会                 |
| 2月15日 | あすなろ・後潟地区水稻農事講習会           |
| 2月15日 | 女鹿沢、大杉部会合同りんご中間販売報告会       |
| 2月16日 | 今別町和牛飼育組合 令和5年通常総会         |
| 2月16日 | JA 青森とまと部会あすなろ支部総会         |
| 2月18日 | 佐賀青果管内佐賀保育園寄贈（～19日）        |
| 2月19日 | みのり監査期中Ⅲ自己査定監査             |
| 2月20日 | 野沢地区共防りんご防除暦説明会            |
| 2月21日 | 一般野菜部会東つがる支部通常総会           |
| 2月23日 | 札幌市興生学園でのりんご寄贈及び食育活動（～24日） |
| 2月26日 | 定例監事会                      |
| 2月26日 | 定例理事会                      |
| 2月27日 | JA 青森南地域女性部 第52回通常総代会      |
| 2月27日 | 左堰農事組合法人総会                 |
| 2月27日 | 北中野地区りんご防除暦説明会             |
| 2月28日 | りんご部会連絡協議会市場研修（～3/2）       |
| 2月29日 | JA 青森花き部会 令和5年度通常総会        |
| 3月 6日 | トマト部会東つがる支部土壌講習会           |
| 3月 7日 | 令和5年度きゅうり部会通常総会            |
| 3月12日 | 総務委員会                      |
| 3月12日 | 信用共済委員会                    |
| 3月12日 | 経済委員会                      |
| 3月14日 | 青森農協女性部 第15回通常総会           |
| 3月15日 | 青森農協地産地消部会 令和5年度通常総会       |
| 3月18日 | 今別営農センター出張ドコモショップ（～19日）    |
| 3月19日 | 浪岡地区りんご共防連「安全作業祈願祭」        |
| 3月22日 | 青森農協畜産部会通常総会               |
| 3月22日 | 青森農協畜産振興協議会通常総会            |
| 3月22日 | 令和5年度浪岡地区りんごわい化栽培技術研究会定時総会 |
| 3月26日 | ミニトマト部会総会                  |
| 3月28日 | 定例監事会                      |
| 3月28日 | 定例理事会                      |
| 3月29日 | 令和5年度購買品決算棚卸監事監査（～31日）     |
| 3月31日 | みのり監査法人期末Ⅰ棚卸立会             |

## 6. 地域貢献情報

◇社会貢献活動

- ・献血への協力
- ・偽造キャッシュカード対策

ＩＣチップを組み込んだ「ＩＣキャッシュカード」の取り扱い

◇地域貢献情報

- ・地域の子どもたちを守るためＪＡ共済「こども 110 番の車」活動
- ・管内小学校に農業読本「ちゃぐりん」を食育教育の参考書として寄贈
- ・ふれあい農園の開園と幼稚園園児の農作業体験学習
- ・学校田及びバケツ稲の実施
- ・新そば祭り（収穫祭）の開催
- ・事業所にＡＥＤの設置

## 7. リスク管理の状況

### ◇リスク管理体制等

#### 〔リスク管理基本方針〕

組合員・利用者の皆さまに安心してＪＡをご利用いただくためには、より健全性の高い経営を確保し、信頼性を高めていくことが重要です。

このため、有効な内部管理態勢を構築し、直面する様々なリスクに適切に対応すべく「リスク管理基本方針」を策定し、認識すべきリスクの種類や管理体制と仕組みなど、リスク管理の基本的な体系を整備しています。

また、この基本方針に基づき、収益とリスクの適切な管理、適切な資産自己査定の実施などを通じてリスク管理体制の充実・強化に努めています。

また、昨今の国際情勢をふまえ、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の金融サービスの濫用防止対策（マネロン等対策）の重要性はこれまでになく高まっています。当ＪＡではマネロン等対策を重要課題の１つとして位置付け、リスクに応じた対策を適切に講じています。

#### ① 信用リスク管理

信用リスクとは、信用供与先の財務状況の悪化等により、資産（オフ・バランスを含む。）の価値が減少ないし消失し、金融機関が損失を被るリスクのことです。当ＪＡは、個別の重要案件又は大口案件については理事会において対応方針を決定しています。また、通常の貸出取引については、本店に審査部を設置し各支店と連携を図りながら、与信審査を行っています。審査にあたっては、取引先のキャッシュ・フローなどにより償還能力の評価を行うとともに、担保評価基準など厳格な審査基準を設けて、与信判定を行っています。貸出取引において資産の健全性の維持・向上を図るため、資産の自己査定を厳正に行っています。不良債権については管理・回収方針を作成・実践し、資産の健全化に取り組んでいます。また、資産自己査定の結果、貸倒引当金については「債権の償却・引当基準」に基づき必要額を計上し、資産及び財務の健全化に努めています。

#### ② 市場リスク管理

市場リスクとは、金利、為替、株式等の様々な市場のリスク・ファクターの変動により、資産・負債（オフ・バランスを含む。）の価値が変動し、損失を被るリスク、資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスクのことです。主に金利リスク、価格変動リスクなどをいいます。金利リスクとは、金利変動に伴い損失を被るリスクで、資産と負債の金利又は期間のミスマッチが存在している中で金利が変動することにより、利益が低下ないし損失を被るリスクをいいます。また、価格変動リスクとは、有価証券等の価格の変動に伴って資産価格が減少するリスクのことです。

当ＪＡでは、金利リスク、価格変動リスクなどの市場性リスクを的確にコントロールすることにより、収益化及び財務の安定化を図っています。このため、財務の健全性維持と収益力強化とのバランスを重視したＡＬＭを基本に、資産・負債の金利感応度分析などを実施し、金融情勢の変化に機敏に対応できる柔軟な財務構造の構築に努めています。

とりわけ、有価証券運用については、市場動向や経済見通しなどの投資環境分析及び当ＪＡの保有有価証券ポートフォリオの状況やＡＬＭなどを考慮し、理事会において運用方針を定め

るとともに、経営層で構成する余裕金運用会議を定期的を開催して、日常的な情報交換及び意思決定を行っています。運用部門は、理事会で決定した運用方針及び余裕金運用会議で決定された方針などに基づき、有価証券の売買やリスクヘッジを行っています。運用部門が行った取引についてはリスク管理部門が適切な執行を行っているかどうかチェックし定期的にリスク量の測定を行い経営層に報告しています。

### ③ 流動性リスク管理

流動性リスクとは、運用と調達 mismatches や予期せぬ資金の流出により、必要な資金確保が困難になる、又は通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスク（資金繰りリスク）及び市場の混乱等により市場において取引ができないため、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスク（市場流動性リスク）のことです。

当JAでは、資金繰りリスクについては、運用・調達について月次の資金計画を作成し、安定的な流動性の確保に努めています。また、市場流動性リスクについては、投資判断を行う上での重要な要素と位置づけ、商品ごとに異なる流動性（換金性）を把握したうえで、運用方針などの策定の際に検討を行っています。

### ④ オペレーショナル・リスク管理

オペレーショナル・リスクとは、業務の過程、役職員の活動もしくは、システムが不適切であること又は外生的な事象による損失を被るリスクのことです。当JAでは、収益発生を意図し能動的な要因により発生する信用リスクや市場リスク及び流動性リスク以外のリスクで、受動的に発生する事務、システム、法務などについて事務処理や業務運営の過程において、損失を被るリスクと定義しています。事務リスク、システムリスクなどについて、事務手続きにかかる各種規程を理事会で定め、その有効性について内部監査や監事監査の対象とするとともに、事故・事務ミスが発生した場合は速やかに状況を把握して理事会に報告する体制を整備して、リスク発生後の対応及び改善が迅速・正確に反映ができるよう努めています。

### ⑤ 事務リスク管理

事務リスクとは、役職員が正確な事務を怠る、あるいは事故・不正等を起こすことにより金融機関が損失を被るリスクのことです。当JAでは、業務の多様化や事務量の増加に対応して、正確な事務処理を行うため事務マニュアルを整備するとともに、自主検査・自店検査を実施し事務リスクの削減に努めています。また、事故・事務ミスが発生した場合には、発生状況を把握し改善を図るとともに、内部監査により重点的なチェックを行い、再発防止策を実施しています。

### ⑥ システムリスク管理

システムリスクとは、コンピュータシステムのダウン又は誤作動等、システムの不備に伴い金融機関が損失を被るリスク、さらにコンピュータが不正に使用されることにより金融機関が損失を被るリスクのことです。当JAでは、コンピュータシステムの安定稼働のため、安全かつ円滑な運用に努めるとともに、システムの万一の災害・障害等に備え、「システムリスク管理マニュアル」を策定しています。

## ⑦ 危機管理体制

当ＪＡにおいて危機事態が発生した場合に、その拡大を最小化するため「危機管理基本方針」（当ＪＡの危機管理規範）を定め、役職員がこの方針に従い、危機管理の徹底に万全を期すこととしています。災害・犯罪・事故・農畜産物の欠陥や公害、これらに起因する信用の失墜等の危機事態が発生した場合においては、人命の確保を第一義とし、有形、無形を問わず当組合の損失を公正な手段により、最小化することを基本行動規範としています。

さらには、大規模自然災害等が発生した場合においても、ご利用の皆さま方に便宜がはかれるよう、「事業継続計画（ＢＣＰ）」に基づき対応することとしています。

## ◇法令遵守体制

### 〔コンプライアンス基本方針〕

利用者保護への社会的要請が高まっており、また最近の企業不祥事に対する社会の厳しい批判に鑑みれば、組合員・利用者からの信頼を得るためには、法令等を遵守し、透明性の高い経営を行うことがますます重要になっています。

このため、コンプライアンス（法令等遵守）を経営の重要課題のひとつとして位置づけ、この徹底こそが不祥事を未然に防止し、ひいては組織の信頼性向上に繋がるとの観点にたち、コンプライアンスを重視した経営に取り組みます。

### 〔コンプライアンス運営態勢〕

コンプライアンス態勢全般にかかる検討・審議を行うため、代表理事組合長を委員長とするコンプライアンス委員会を設置するとともに、コンプライアンスの推進を行うため、本店各部門・各支店にコンプライアンス推進担当者を設置しています。

基本姿勢及び遵守すべき事項を記載した手引書「コンプライアンス・マニュアル」を策定し、研修会を行い全役職員に徹底しています。

毎年度、コンプライアンス・プログラムを策定し、実効ある推進に努めるとともに、統括部署を設置し、その進捗管理を行っています。

また、組合員・利用者の皆さまの声を真摯に捉え、前向きに事業に反映するため、苦情・相談等の専門窓口の「お客様相談室」を設置しています。

## ◇金融ＡＤＲ制度への対応

### ① 苦情処理措置の内容

当ＪＡでは、苦情処理措置として、業務運営体制・内部規則等を整備のうえ、その内容をチラシ等で公表するとともに、ＪＡバンク相談所やＪＡ共済連とも連携し、迅速かつ適切な対応に努め、苦情等の解決を図ります。

当ＪＡの苦情等受付窓口

- ・信用事業（電話：０１７－７６３－２０１３（月～金９時～５時））
- ・共済事業（電話：０１７－７６３－２０１４（月～金９時～５時））

### ② 紛争解決措置の内容

当ＪＡでは、紛争解決措置として、次の外部機関を利用しています。

#### ・信用事業

仙台弁護士会仲裁センター（電話：０２２－２２３－１００５）

①の窓口またはJ Aバンク相談所(一般社団法人J Aバンク・J Fマリンバンク相談所、電話：03-6837-1359)にお申し出ください。なお、仙台弁護士会仲裁センターについては、直接紛争解決をお申し立ていただくことも可能です。

・ 共済事業

(一社)日本共済協会 共済相談所 (電話：03-5368-5757)

<https://www.jcia.or.jp/advisory/index.html>

(一財)自賠責保険・共済紛争処理機構

<https://www.jibai-adr.or.jp/>

(公財)日弁連交通事故相談センター

<https://n-tacc.or.jp/>

(公財)交通事故紛争処理センター

<https://www.jcstad.or.jp/>

日本弁護士連合会 弁護士費用保険ADR

<https://www.nichibenren.or.jp/activity/resolution/lac.html>

最寄りの連絡先については、上記または①の窓口にお問い合わせ下さい。

◇内部監査体制

当J Aでは、内部監査部門を被監査部門から独立して設置し、経営全般にわたる管理及び各部門の業務の遂行状況を、内部管理態勢の適切性と有効性の観点から検証・評価し、改善事項の勧告などを通じて業務運営の適切性の維持・改善に努めています。

また、内部監査は、J Aの本店・支店のすべてを対象とし、年度の内部監査計画に基づき実施しています。監査結果は代表理事組合長及び監事に報告したのち被監査部門に通知され、定期的に被監査部門の改善取り組み状況をフォローアップしています。また、監査結果の概要を定期的に理事会に報告することとしていますが、特に重要な事項については、直ちに理事会、代表理事組合長、監事に報告し、速やかに適切な措置を講じています。

## 8. 自己資本の状況

### ◇自己資本比率の状況

当ＪＡでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。内部留保に努めるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、令和６年３月末における自己資本比率は、11.00％となりました。

### ◇経営の健全性の確保と自己資本の充実

当ＪＡの自己資本は、組合員の普通出資によっています。

#### ○ 普通出資による資本調達額

| 項 目               | 内 容       |
|-------------------|-----------|
| 発行主体              | 青森農業協同組合  |
| 資本調達手段の種類         | 普通出資      |
| コア資本に係る基礎項目に算入した額 | 3,186 百万円 |

当ＪＡは、「自己資本比率算出要領」を制定し、適正なプロセスにより正確な自己資本比率を算出して、当ＪＡが抱える信用リスクやオペレーショナル・リスクの管理及びこれらのリスクに対応した十分な自己資本の維持を図るとともに、内部留保の積み増しにより自己資本の充実に努めています。

また、2019 年度から、信用リスク、オペレーショナル・リスク、金利リスクなどの各種リスクを個別の方法で質的または量的に評価し、リスクを総体的に捉え、自己資本と比較・対照し、自己資本充実度を評価することにより、経営の健全性維持・強化を図っております。

とりわけ、財務基盤強化のため、令和４年度より３か年計画で増資運動に取り組んでおりますが、令和５年度末の出資金額は２０億円となっています。

## 9. 主な事業の内容

### (1) 主な事業の内容

#### 〔信用事業〕

信用事業は、貯金、貸出、為替などいわゆる銀行業務を行っています。この信用事業は、J A・信連・農林中金という3段階の組織が有機的に結びつき、「J Aバンク」として大きな力を発揮しています。なお、本県においては、平成24年10月9日信連と農林中金が組織統合（全部事業譲渡）されました。

#### ◇貯金業務

組合員の方はもちろん、地域住民の皆さまや事業主の皆さまからの貯金をお預かりしています。普通貯金、当座貯金、定期貯金、定期積金、総合口座などの各種貯金を目的・期間・金額にあわせてご利用いただいています。

また、公共料金、都道府県税、市町村税、各種料金のお支払い、年金のお受け取り、給与振込等もご利用いただけます。

#### 【主な貯金商品一覧】

| 商 品 名                          | 特 色                                                                                                                                                           | 預入期間                                                      |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 普 通 貯 金                        | 出し入れ自由で、毎月の暮らしの財布替わりとしてご利用いただける便利な貯金です。公共料金等の各種自動支払口座として、また、年金の自動受取口座として、最適です。                                                                                | 出し入れ自由                                                    |
| 貯 蓄 貯 金                        | お手持ちの資金を有利に増やしながら、必要な時にいつでも引き出せる貯金です。残高10万円以上から残高に応じて5段階の金利が適用されますので有利さと便利さを兼ね備えた商品です。                                                                        | 出し入れ自由                                                    |
| 通 知 貯 金                        | まとまった資金の短期のご利用に便利な貯金です。                                                                                                                                       | 7 日 以 上                                                   |
| 総 合 口 座                        | 普通貯金の便利さと定期貯金・定期積金の有利さをワンセット。公共料金の自動支払、年金の自動支払、年金の自動受取、お引出、お預入、お振込み、残高照会などができるキャッシュカードなど便利なサービスが利用できます。また、定期貯金をお預入の方には、定期貯金の合計額の90%、最高500万円までの自由融資もご利用いただけます。 | 出し入れ自由                                                    |
| 定 期 積 金                        | 毎月一定額の積立で、生活設計に合わせた無理のない資金づくりができる資金です。                                                                                                                        | 6ヵ月以上120<br>ヵ月以下                                          |
| 期 日 指 定<br>定 期 貯 金             | 便利さを備えた定期貯金。期間は1年間据え置き後最長3年。1年ごとの複利計算。1ヶ月以上前の連絡により、自由に元金の全部または一部の満期期日の指定が可能です。                                                                                | 1年以上3年までの間で、1ヵ月以上前の連絡により満期日の指定ができます。                      |
| スーパー定期貯金（単利型）<br>スーパー定期貯金（複利型） | ボーナスや分散している貯金をまとめてお預入するのに便利な商品です。                                                                                                                             | 1ヵ月・3ヵ月・6ヵ月・1年～10年<br>「1ヵ月以上10年未満までの満期日指定可能。複数型は3年以上1年刻み。 |

|        |                                                                                                                |                                                            |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 大口定期貯金 | まとまった大口資金の運用に適した定期貯金です。金利はお預けいただいた時点での金利情勢で決定され、満期日までに変わりませんので安心です。自動継続にすれば、満期日ごとに利息を元金に組み入れますのでさらに有利な運用ができます。 | 1ヵ月・3ヵ月・6ヵ月・1年～10年<br>「1ヵ月以上10年未満までの満期日指定可能。複数型は3年以上1年刻み。」 |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|

#### ◇貸出業務

農業専門金融機関として、農業の振興を図るための農業関連資金はもとより、組合員の皆さまの生活を豊かにするための生活改善資金等を融資しています。

また、地域金融機関の役割として、地域住民の皆さまの暮らしに必要な資金や、地方公共団体、農業関連産業・地元企業等、農業以外の事業へも必要な資金を貸し出し、農業の振興はもとより、地域社会の発展のために貢献しています。

さらに、株式会社日本政策金融公庫をはじめとする政府系金融機関等の代理貸付、個人向けローンも取り扱っています。

#### 【主な貸出商品一覧（農業関連向けご融資）】

| 資金の種類                  | お使用みちなど                                                    | ご融資金額            | ご融資期間    |
|------------------------|------------------------------------------------------------|------------------|----------|
| アグリマイティ資金              | 農業生産、農産物の加工・流通・販売等に関する設備資金や運転資金にご利用いただけます。                 | 必要額以内            | 最長で20年以内 |
| J A 農 機<br>ハ ウ ス ロ ー ン | 農機具の点検修理や購入資金、パイプハウス等の資材、建設費用、他金融機関の農機具ローンの借換資金にご利用いただけます。 | 必要額以内（最高1,800万円） | 最長で10年以内 |
| 制 度 融 資                | 農業近代化資金、農業経営改善促進資金など各種制度資金をお取扱いしております。                     |                  |          |

#### 【主な貸出商品一覧（個人向けご融資）】

| 資金の種類       | お使用みちなど                                                    | ご融資金額               | ご融資期間          |
|-------------|------------------------------------------------------------|---------------------|----------------|
| 住 宅 ロ ー ン   | 住宅の購入（土地のみの購入も含む）新築・増改築・中古住宅の購入及び既にお借入の住宅資金の借換等にご利用いただけます。 | 10万円以上<br>5,000万円以内 | 3年以上<br>35年以内  |
| リフォームローン    | 既存住宅の増改築・改装・補修等及び、その他住宅に付帯する施設等の住宅関連設備資金。                  | 10万円以上<br>1,000万円以内 | 1年以上<br>15年以内  |
| フ リ ー ロ ー ン | 使い道はご自由です。ただし、負債整理資金などは除きます。                               | 300万円以内             | 6ヶ月以上<br>5年以内  |
| マイカーローン     | 自動車・バイク購入資金（中古含む）など自動車・バイクに関する資金としてご利用いただけます。              | 1,000万円以内           | 6ヶ月以上<br>10年以内 |
| 教 育 ロ ー ン   | 就学（予定）子弟の入学金・授業料・学費及び下宿代等に必要な資金。                           | 1,000万円以内           | 6ヶ月以上<br>10年以内 |

# ◇為替業務

全国のＪＡ・信連・農林中金の店舗を始め、全国の銀行や信用金庫などの各店舗と為替網で結び、当ＪＡの窓口を通して全国のどこの金融機関へでも振込・送金や手形・小切手等の取立が安全・確実・迅速にできます。

# ◇その他の業務及びサービス

当ＪＡでは、オンラインシステムを利用して、各種自動受取、各種自動支払や事業主のみなさまのための給与振込サービスなどを取り扱っています。

また、国債（利付・割引国庫債券）の窓口販売の取り扱い、国債の保護預かり、貸金庫のご利用、全国のＪＡでの貯金のおし入れや銀行、信用金庫などでも現金引き出しのできるキャッシュサービスなど、いろいろなサービスに努めています。

# 【各種サービス一覧】

| 種 類            | サービスの内容                                                                                                                       |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 内国為替サービス       | 全国どこの金融機関にも、お振り込み、ご送金、お取立を行っております。                                                                                            |
| ＪＡキャッシュサービス    | キャッシュカードがあれば、全国のＪＡ・信連・農林中金・都銀・地銀・第二地銀・信金・信組・労金・ゆうちょ銀行・セブン銀行・一部コンビニのＣＤ（現金自動支払機）、ＡＴＭ（現金自動預入・支払機）で、現金の引き出し、残高照会等がご利用いただけます。      |
| 給与振込サービス       | 給与・ボーナスがお客様のご指定いただいた貯金口座に自動的に振り込まれます。余分な現金を持ち歩かずにすみ、振り込まれたご資金はキャッシュカードにより必要な時にお引き出しいただけます。                                    |
| 各種自動受取サービス     | 各種年金、配当金などがお客様の口座に自動的に振り込まれます。その都度お受取りに出られる手間や、期日忘れや紛失なども防げ安心です。                                                              |
| 各種自動支払サービス     | 電気・電話・ＮＨＫ放送受信料等の公共料金のほか、高校授業料、各種クレジット代金など普通貯金（総合口座）から自動的にお支払い致しますので、支払い忘れや支払いの煩わしさがなくなります。                                    |
| クレジットカードサービス   | お買い物、ご旅行、お食事などお客様のサインひとつでご利用いただけます。ＪＡカードは、ＶＩＳＡがお客様のニーズにお答えしております。                                                             |
| 口座振替サービス       | 収納企業（委託者）に代わり、口座振替により集金業務を行っております。                                                                                            |
| ＡＴＭ振込サービス      | ＡＴＭを使用して全国どこの金融機関にも振り込みできるサービスです。振込依頼書に記入する手間も省け大変便利です。                                                                       |
| ＡＴＭ振込予約サービス    | 平日３時以降、土・日曜日・祭日にＡＴＭを利用して、翌窓口営業日に振込を行う振込予約サービスを行っております。                                                                        |
| ＪＡネットバンクサービス   | 外出先や出張はもちろん全国どこからでも、インターネットに接続可能なパソコン・携帯電話を使って曜日を問わずいつでも残高照会、入出金明細照会、振込・振替予約ができるサービスです。窓口へ出向く手間も省け、手数料も割安となっております。大変便利でおトクです。 |
| 法人ＪＡネットバンクサービス | インターネットに接続可能なパソコンがあれば簡単なお申込み手続きでお取引が可能です。曜日を問わず振込み、口座振替、残高照会等行えるサービスです。窓口へ行く煩わしさから開放されることにより、窓口へ出向く手間も省け便利です。                 |

# ◇手数料一覧

- 内国為替手数料
- 貯金業務に関する手数料
- 自動化機器利用手数料・ＡＴＭ利用手数料
- 貸出金に関する手数料
- その他の業務手数料（債券口座管理、保護預かり、貸金庫、夜間金庫、窓口両替、ネットバンク、アンサーサービスなど）

## 〔共済事業〕

J A 共済は、J A が行う地域密着型の総合事業の一環として、組合員・利用者の皆様の生命・傷害・家屋・財産を相互扶助によりトータルに保障しています。事業実施当初から生命保障と損害保障の両方を実施しており、個人の日常生活のうえで必要とされるさまざまな保障・ニーズにお応えできます。

J A 共済では、生命・建物・自動車などの各種共済による生活総合保障を展開しています。

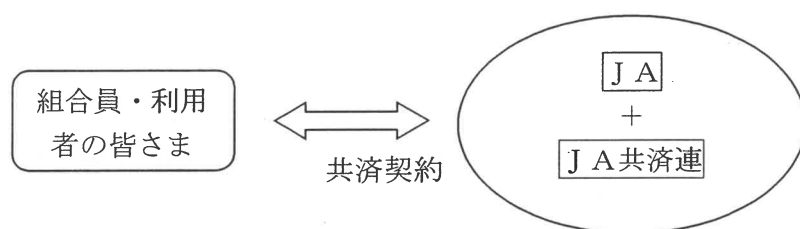
## 【主な共済商品一覧】

| 種 類       | 保 障 期 間         | 特 色                                                                                                 |
|-----------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 終 身 共 済   | 一生涯             | 被共済者の万一のときに共済金を支払うことによって、家族の生活保障を被共済者の生涯にわたって確保する共済です。                                              |
| 養老生命共済    | 5～30 年          | 被共済者が万一のときの保障だけでなく、満期まで生存したときにも共済金を支払う共済です。計画的な貯蓄と万一への備えを両立できるとともに、さまざまな特約を付加することで、保障を充実させることも可能です。 |
| 生活障害共済    | 払込終了            | 病気やケガにより身体障害状態になり、身体障害者手帳制度の 1～4 級の保障を対象とし、収入減少の経済的リスクを保障する共済です。                                    |
| 特定重度疾病    | 80 才満了          | 「がん」「心・血管疾患」「糖尿病・肝硬変・慢性じん不全・慢性すい炎」を幅広く保障する共済です。                                                     |
| 医 療 共 済   | 10 年更新、80 才、一生涯 | 入院や手術または放射線治療を受けたときの保障を確保するための共済です。共済期間や入院共済金の支払限度日数を選べるだけでなく、先進医療保障や入院見舞保障など、ニーズにあわせた保障内容を選べます。    |
| 介 護 共 済   | 一生涯             | 被共済者が要介護状態となったときの保障を一生涯にわたり確保するための共済です。                                                             |
| が ん 共 済   | 80 才満了<br>又は一生涯 | 被共済者が悪性新生物または脳腫瘍になった場合、その入院、手術等を保障するとともに、再発時や長期治療時の経済的負担に対応する保障もあり、生涯にわたって「がん」を総合的に保障できる共済です。       |
| こ ど も 共 済 | 0～22 年          | お子さまの保障のほか、成長に合わせて必要な教育資金や結婚独立資金の準備に最適な共済です。                                                        |

|             |                                      |                                           |
|-------------|--------------------------------------|-------------------------------------------|
| 建 物 更 生 共 済 | 5～30 年                               | 家具や家財等を火災や自然災害（地震・風・雪害等）から守る保障範囲の広い共済です。  |
| 年 金 共 済     | 一生涯・一定期間                             | 豊かな老後を送るため、一定期間または生涯にわたり、年金の受け取りができる共済です。 |
| 自 動 車 共 済   | 車両・対人・対物賠償・搭乗者傷害特約など、割安な掛金でワイドな保障です。 |                                           |
| 自 賠 責 共 済   | 法律によってすべての自動車に加入が義務づけられています。         |                                           |
| 傷 害 共 済     | 日常生活から旅行まで、あらゆる場面の傷害を保障します。          |                                           |

#### ◇ J A 共済の仕組み

J A 共済は、平成 17 年 4 月 1 日から、J A と J A 共済連が共同で共済契約をお引き受けしています。J A と J A 共済連がそれぞれの役割を担い、組合員・利用者の皆さまに密着した生活総合保障活動を行っています。



J A : J A 共済の窓口です。

J A 共済連 : J A 共済事業の企画・開発・資産運用業務や支払共済にかかる準備金の積み立てなどを行っています。

#### [農業関連事業]

##### ◇販売事業

当農協で生産される農産物は、米・りんごを中心に野菜では、トマト・ミニトマト・ねぎ・きゅうり・ピーマン・ながいも等が生産されております。

また、畜産においては、黒毛和種を中心に飼育されており、安全・安心を基本に系統販売を重点に全国販売をしております。

食育運動として、市内の小学校へのバケツ稲栽培、又、幼稚園児へのさつまいも栽培等に取り組んでおります。

直売所を管内 4 ヶ所に設置し、お客様へ新鮮で美味しい野菜を提供して信頼を得ており好評であります。

##### ◇購買事業

各店舗では、農産物の種、苗、肥料、農薬、農具、園芸資材等を販売しています。

米やりんご・野菜等を出荷している農家向けの品物だけではなく、家庭菜園向けの品物も取り揃えています。営農指導員が野菜づくりのアドバイスも行っています。

#### [営農・生活相談事業]

##### ◇営農指導相談

〔生活関連事業〕

◇自動車事業

◇石油（ＪＡ－ＳＳ）事業            など。

（２）系統セーフティネット（貯金者保護の取り組み）

当ＪＡの貯金は、ＪＡバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と公的制度である「貯金保険制度（農水産業協同組合貯金保険制度）」との２重のセーフティネットで守られています。

◇「ＪＡバンクシステム」の仕組み

組合員・利用者から一層信頼され利用される信用事業を確立するために、「再編強化法（農林中央金庫及び特定農水産業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律）」に則り、ＪＡバンク会員（ＪＡ・信連・農林中金）総意のもと「ＪＡバンク基本方針」に基づき、ＪＡ・信連・農林中金が一体的に取り組む仕組みを「ＪＡバンクシステム」といいます。

「ＪＡバンクシステム」は、ＪＡバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を生かした金融サービスの提供の充実・強化を目指す「一体的事業運営」の２つの柱で成り立っています。

◇「破綻未然防止システム」の機能

「破綻未然防止システム」は、ＪＡバンクの健全性を確保し、ＪＡ等の経営破綻を未然に防止するためのＪＡバンク独自の制度です。具体的には、（１）個々のＪＡ等の経営状況についてチェック（モニタリング）を行い、問題点を早期に発見、（２）経営破綻に至らないよう、早め早めに経営改善等を実施、（３）全国のＪＡバンクが拠出した「ＪＡバンク支援基金※」等を活用し、個々のＪＡの経営健全性維持のために必要な資本注入などの支援を行います。

※2023年3月末における残高は1,651億円となっています。

◇「一体的な事業運営」の実施

良質で高度な金融サービスを提供するため、ＪＡバンクとして商品開発力・提案力の強化、共同運営システムの利用、全国統一のＪＡバンクブランドの確立等の一体的な事業運営の取り組みをしています。

◇貯金保険制度

貯金保険制度とは、農水産業協同組合が貯金などの払い戻しができなくなった場合などに、貯金者を保護し、また資金決済の確保を図ることによって、信用秩序の維持に資することを目的とする制度で、銀行、信金、信組、労金などが加入する「預金保険制度」と同様な制度です。

なお、この制度を運営する貯金保険機構（農水産業協同組合貯金保険機構）の責任準備金残高は、2023年3月末現在で4,708億円となっています。